

図書館だより 11月号

令和4年11月9日発行 川島中学校・高等学校図書館

新しく入った本

(数字)は分類番号

- ☆ 日本の最も美しい図書館 立野井一恵/文 エクスナレッジ (O10) ←リクエスト!
- ★ 世界の美しい図書館 パインターナショナル/編集発行 (O12)
- ☆ 「神話」の歩き方 平藤喜久子/写真・文 集英社 (291) ←神話の本、たくさん届いています!
- ★ ドイツ兵捕虜の足跡 板東倅虜収容所 森清治/著 新泉社 (T21) ←徳島の本のコーナーにあります。
- ☆ ウクライナファンブック 平野高志/著 パブリブ (293)
- ★ ウクライナを知るための65章 服部倫卓, 原田義也/編著 明石書店 (302)
- ☆ 見た目が気になる 「からだ」の悩みを解きほぐす26のヒント 河出書房新社/編集発行 (361)
- ★ 「死んでもいいけど、死んじゃだめ」と僕が言い続ける理由 大空幸星/著 河出書房新社 (368)
- ☆ 算数文章題が解けない子どもたち 今井むつみほか/著 岩波書店 (375)
- ★ 嫌いな教科を好きになる方法、教えてください! 河出書房新社/編集発行 (375)
- ☆ 学びなおし 中学・高校の化学 ニュートン別冊 ニュートンプレス/編集発行 (430)
- ★ やせる科学 ニュートン別冊 ニュートンプレス/編集発行 (493)
- ☆ 未来の医療で働くあなたへ 奥真也/著 河出書房新社 (490)
- ★ 世界一やさしい依存症入門 やめられないのは誰かのせい? 松本俊彦/著 河出書房新社 (498)
- ☆ 地域医療の未来 医療科学研究所/監修 法研 (498) ←医療系をめざす人へ
- ★ 看護師が見たパンデミック 新型コロナウイルスとの闘いII 地域医療・介護研究会JAPAN, ヘルスケア・システム研究所/著 PHPエディタース・グループ(498)
- ☆ 地域医療の輝く未来へ 地域医療振興協会/編 メディカルサイエンス社 (498) ←6年生にオススメ
- ★ 「心」のお仕事 今日も誰かのそばに立つ24人の物語 河出書房新社/編集発行 (498)
- ☆ お味噌知る。 土井善晴, 土井光/著 世界文化社 (596) ←お味噌汁はおかずに!
- ★ 生き抜くためのごはんの作り方 悩みに効く16人のレシピ 河出書房新社/編集発行 (596)
- ☆ まちおこしは総力戦で挑め! 小田原発「地域創生のカギはSDGsにあり」 蓑宮武夫/著 PHP研究所 (601)
- ★ タガヤセ! 日本 「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます 白石優生/著 河出書房新社 (612)
- ☆ ヨーロッパの装飾文様 浜本隆志/著 河出書房新社 (757)
- ★ プロ野球語辞典 令和の怪物現る! 編 長谷川崑一/著 新光社 (783)
- ☆ 児童文学の書き方 100年後も読み継がれる 村山早紀/著 立東舎 (909) ←小説家になりたいすべての人へ
- ★ ギリシア神話 石井桃子/編・訳 のら書店 (991) ←ロングセラーです!
- ☆ テッドエンドの思い出 よしもとばなな/著 文藝春秋 (91) ←よしもとばななさんの本を文庫で!
- ★ 記憶喪失の君と、君だけを忘れてしまった僕 1~3 小鳥居ほたる/著 スターツ出版 ←リクエスト!
- ☆ 日本の怪談 1,2 ラフカディオ・ハーン/著 KADOKAWA (93)

クラス読書会の感想を一部ご紹介! Part1 (抜粋しています。)

* 走れメロス 太宰治/著

中学生の頃に教科書で読んだことがあったが、改めて読むととても面白かった。私が特にひかれた部分は、メロスの単純さと浅はかさだ。怒りにまかせて短剣を隠し持ってお城に潜入して、捕まれば友人を人質に出し、予想外のハプニングに陥って時間に遅れそうになるなど、行き当たりばったりな部分もある。しかし、それが太宰治が書いたメロスの良さなのだと思う。どれだけ辛い状況でも友のために歩みを止めないメロスの姿はグッとくるものがあった。この姿にセリヌティウスも信じ続ける道を選んだのだろう。最初に読んだときはよくわからなかったが、改めて読んでみると、前にはわからなかった部分を考えて、とても勉強になったし、良い機会になったと思った。心に響いた(残った)一文 「友と友のあいだの信実は、この世でいちばん誇るべき宝なのだから。」 (41HR女子)

中学校の授業などで読んだことがあったので、内容を覚えているところもあった。しかし、今の年齢になって改めて読んでみると、作者の太宰治の人柄も知識として持っていたので、より深く読むことができたように思う。信じ続けていたセリヌティウスを疑っていたところや、失望しネガティブになっていたところで、太宰治の人生の一部や出来事、体験、考え方が、話の中に入っていたのではないかと考えた。メロスの意志の強さや正義感、どん底からもう一度立ち上がる粘り強さに読むたびに感化される。印象的な冒頭部分には、メロスの心情の移り変わりや正義を貫き通そうとする性格がとてもよく表れていた。心に響いた(残った)一文 「走れ!メロス」(41HR女子)

* チヨ子 宮部みゆき/著

うさぎの着ぐるみを着て人を見たら、その人が昔大切にしていたおもちゃを見ることができるとはとても面白く感じた。「何かを大切にしたい思い出。何かを大好きになった思い出。人はそれらに守られて生きるのだ。それがなければ、悲しいくらい簡単に、悪いものにつかれてしまうのだ。」の部分がとても印象に残った。小さい頃に大切だったぬいぐるみやおもちゃの思い出が人の心を支えているのだと思った。私も小さい頃に遊んでいたぬいぐるみを思い出した。小さい頃の思い出は人の心の中で大切にされているものだと思えて感じた。心に響いた(残った)一文 「わたしにはチヨ子がいるもんね。」 (42HR女子)

私は小さい頃からぬいぐるみやおもちゃが好きで、たくさん買ってもらっていた。今でもぬいぐるみは好きで大事にしているが、汚くなったりこわれたりして、捨ててしまったぬいぐるみもいるので、自分の鏡のなかには何が映るのかすごく気になった。このうさぎの着ぐるみは、チヨ子のことを思い出させてくれて、これからも大切にしようと思わせてくれていると思い、読んでいて少し心が温かくなった。私も小さい頃から大切にしていたぬいぐるみを思い出して汚れていたら洗い、こわれていたら直し、これからも大切にしていきたいと思った。チヨ子という本を読めて良かった。心に響いた(残った)一文 「あなたの鏡のなかには何が映るでしょうか。」 (42HR女子)

* さがしもの 角田光代/著

死んでしまったおばあちゃんが幽霊になって現れたときに言った、「できごとより、考えのほうが何倍もこわい」という一言がとても印象に残っている。なぜなら、自分もそう思ったからだ。何かしようと思ったときに、「失敗したらどうしよう」と考えているときの方がこわいと感じる。「私」が渡したぬいぐるみと並んで寝ているところから、少し嫌なおばあちゃんだが本当は優しい人なんだと感じた。数年後にずっと探していた本を見つけた「私」は、本屋で働き、いろいろな人の探している本を見つけ出していることに感動した。心に響いた(残った)一文 「できごとより考えのほうが怖い。」 (62HR女子)

祖母のために必死になって見つからない本を探す羊子の姿に感激した。祖母から厳しい言葉をかけられながらも、放課後の本当なら遊びたい時間に本探しに費やすところで本当に祖母のことを愛しているんだと伝わってきた。本が見つからなければ落ち込んで代わりにぬいぐるみを渡したり、祖母と母の関係が悪化して仲直りしてほしいと願ったり、私も羊子のような心を持ちたいと思った。私もおばあちゃんが亡くなった時も涙が出なかった経験があり、亡くなった人ともう一度会いたいなという気持ちになった。最終的に本が見つかって良かった。おばあちゃんの願いを果たせたところが感動した。自分もこれからはもっと身の回りの人を大切にし、その人たちのために一生懸命できることを行っていきたいと思った。心に響いた(残った)一文 「できごとより、考えのほうが何倍もこわいんだ。」 (62HR女子)

この他の感想は、12月号でご紹介します!

本を借りて応募券をGET!



景品を選んで応募



図書委員さんによる厳正な
抽選で当選者決定! ※オマケ!

11月25日まで読書週間のイベント継続中です。

雑誌の付録などが当たる応募券の配付は、25日までです。

本を借りた人に、1日1枚お渡しします。どんな景品があるのか、知りたい人は図書館へ来てね!

一人何回でも応募できます!



